

第5章

建設業者の取組事例紹介

「建設業は未来のヒーロー!!」 人と人との繋がりを重んじる企業として

石川建設工業 株式会社

会社概要

代表者	代表取締役 寺田 茂行	所在地	金沢市桂町ホ85番地
資本金	3,810万円	従業員数	41名(役員含む)
直近決算売上高	1,390,505千円	連絡先	TEL 076-268-0281

建設業界の新たな課題と働きやすい環境の整備

2024年4月より建設業における時間外労働の上限規制についての制度が始まりました。それに伴い、石川建設工業株式会社では、就業規則、36協定の全面的な見直しを行いました。それぞれの法改正とは別に独自の就業規則をもうけ、仕事に対するやりがいや仕事と家庭の調和がとれた居心地のよい会社を目指しています。

また、『週休2日取組企業宣言』であることを念頭におき、打刻システムをスマートフォンやパソコンから行えるソフトの導入や年次有給休暇に関する労使協定を組み、休日取得の改善、長時間労働の是正を広く浸透させる目的を持っています。

自社のグループウェアでは、ウェルビーイングの観点から社員の意識調査を匿名で行っています。当社は、20,30代の社員が少なく40,50代の社員が多く在籍しております。年代別にアンケート調査を行うことにより「仕事に何を求めるのか」をテーマに、違いはあるのかを検証してみました。

結果多くの社員の方々が現状の仕事に幸福感を持ち良い環境で仕事ができていることが見えてきましたが、年代別に求めている内容が違うことから仕事の指示や声掛けを変えることで、さらに仕事に対するパフォーマンスが向上するのではないかとという結果を得ることができました。

令和6年度には、はたらく人にやさしい事業所として金沢市長より表彰されました。

今後も新たな意識調査を継続的に行うことにより顔を合わせて伝えにくい部分を紐解くヒントになればよいです。



週休2日取組企業宣言ポスター



はたらく人にやさしい事業所表彰状

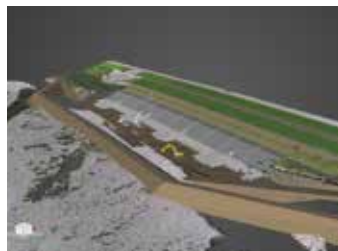
次世代技術者の育成と女性社員活躍の推進

現場監督の業務をワークシェアし、工事施工に関わる書類の作成、データ整理、3次元化を可能にするため、建設ディレクターの育成に取り組みました。また、最新のICTを活用することで効率的で質の高い建設生産・管理システムの構築が可能となります。

各種資格取得を会社が全面的にサポートすることで多様な面で効率化に繋がっています。

女性社員の活躍と推進について、役職登用を行い社内の中核を担う人材として活躍されています。

令和2年には青少年の雇用促進に適合するユースエール認定を受けました。男性社員も女性同様に育児休業制度を利用し建設業であっても男性が子育てに協力できる環境づくりを行っています



BIM.CIM画像



ユースエール認定通知書

ます。育児に関する規定の見直しにより、所定外労働時間の制限・深夜残業の制限・所定内労働時間の短縮等において法定を上回る措置として小学校就学の始期までと定めています。

建設現場事務所等での女性の配慮として女性更衣室や女性専用トイレの設置を行い現場内で不便がないかヒアリングも行っています。

次世代の意見を取り入れる会社であり続けることで新たな就職者の増加に繋げることが今後の課題です。

社員の心と身体を健康づくりを第一に (社員の意見を取り入れたレクリエーション活動)

近年、地球温暖化の影響から夏季の気温は年々上昇の見込となっており、当社では熱中症に新たな対策を考え現場で働く方々の作業が円滑に進むよう取り組んでおります。空調服の複数確保や熱中症対策キットを現場ごとに用意、毎月行う全パトロールにおいては夏場はドリンクを配布しています。また、健康診断では年代別に手厚い健診内容となっており、病気等の早期発見に繋がるケースがありました。健診結果に基づき産業医面談を行い、本社には血管年齢測定器の設置や療法士を招いた『労働者の転落・腰痛予防対策』について測定を行い自身の健康と向き合う場をもうけています。さらに悩みや相談等に対し助言するメンター制度を取り入れ継続的に心のサポートを行っています。令和3年度には、いしかわ健康経営宣言企業の県知事表彰されました。

親睦行事として、心のリフレッシュと身体を動かすことを目的に社員の意見を取り入れたレクリエーション活動を不定期に行っています。金沢城リレーマラソン出場やボウリング大会、釣り会、ゴルフ、慰安旅行の行先も社内アンケートにより決定しています。それらの活動によって年齢層の大幅な差があっても話やすく良好な人間関係が築けています。



金沢城リレーマラソン2024

社内のマネーセミナー(お金が増える仕組みを学ぶ)

当社の退職金制度には、第1退職金と第2退職金があり、第2退職金となる企業型の確定拠出年金に加入しています。確定拠出年金は掛金や銘柄により日々変動するため、専門家によるマネーセミナーを行っています。

また、確定拠出年金の個人掛金増額の案内や定期的に扶養親族の確認、所得税の控除項目、ふるさと納税等の案内など日々変動する社会情勢にあわせて会社として何ができるのかを模索しています。

未来の建設業のために今出来ること(環境・教育・子育て等の社会貢献)

当社の顧客様は官公庁はもちろんですが、地域住民の方々と観光等で石川県を訪れる方々と捉え、未来への確かな礎を築くことの実現に向け日々邁進しております。

建設業は生活に必要なインフラ(道路・河川・橋梁・鉄道)を支える素晴らしい仕事です。この建設業を後世に受け継ぐため、地域の社会貢献と子供たちに建設業でヒーローになろう!と呼びかけるべく活動を行っています。百万石まつりでは協力的行事として、『子どもから大人まで楽しめる!はたらく車in片町』にてホイールローダーによるイベントや工事現場周辺の小学生と共にヒラメ稚魚の放流行事、クリーンビーチいしかわへの参加で海岸清掃を行っています。

また、地域の高齢者世帯の屋根雪おろしなど奉仕活動を行っています。

建設業を担う人材が1人でも多く後世に受け継がれること、更なる発展を目指し今後も今出来ることを積極的に取り組んで参ります。



ヒラメ稚魚放流



百万石『はたらく車in片町』

地域の一員となれる企業

株式会社 北野組

会社概要

代表者	代表取締役社長 北野 大輔	所在地	白山市鶴来新町タ100-1
資本金	4,800万円	従業員数	19名
直近決算売上高	640,410千円	連絡先	TEL 076-272-1255

現状と課題(担い手不足)

様々な業種で人手不足となっている現状ですが、建設業においても高齢化や担い手不足は顕著になってきています。当社も10年以上新卒採用を見送ってきた時期もあり、若手社員も中堅・ベテラン社員となり、そのため担い手の確保は課題の1つでした。そのために若手の採用に舵を切ったのですが、なかなか思うように採用できない日々が続きました。

また、2024年4月から建設業でも働き方改革の時間外労働の上限適用になることもあって、就業規則や働き方や意識を大きく変える必要があり、採用にも関わってくる事柄のため課題の1つでした。

当社は昭和8年に創業して、今年で91年目になります。ここまで長い間会社を継続出来たのも、それまで勤めていた先輩方や今現在働いてる社員の方々、ご関係者の皆様や地域の支えがあってこそです。その歴史を継承し継続していくためには、若手の採用が当社の重要な課題となります。



工事写真(砂防堰堤)



工事写真(山腹工事)

課題と取組(担い手確保)

若手の採用を始めて、なかなか思うようにいかないのは何故なのかと考えたときに、当社の仕事内容や職場環境を含めたアピールが足りないのではないかと考え、地元中学生の職場体験や、地元高校生に対して地区建設業協会主催のインターンシップや意見交換会等に積極的に参加し、実際に会い意見交換することで会社の雰囲気や仕事内容を分かってもらう事や、まだまだ足りないところですが、当社の仕事内

容等SNSで発信し幅広く周知してもらおう活動も重要ではないかと思えます。

また、建設業界は働き方改革が本年度から施行されることから、前年度以前に比べ大幅に就業規則や制度を変更したことで、社員に対して有給休暇の取得の推進や時間外労働を無くす工程管理を改善してもらい、時間管理と休む意識を大きく変えてもらうことで、休みやすく・働きやすい職場になるよう取組んでいきます。

当社は地域で行われているイベント等にも積極的に参加して、地元の人とコミュニケーションを取り交流を深めています。そういうことから、地域・学校・行政・業界等と連携して取組むことが大切ではないかと思えます。



社員旅行

取組と改善(制度の改革)

担い手確保に対する取組を始めて数年は結果が出ていませんでしたが、その中でも少しずつ手応えは感じていました。取組が結果として現れてきたのが7年前で、それから今までで3名の若手社員が増えました。その影響で社内にも活気が出てきて、働きやすい環境に改善しようと取組んでいます。

また、若手社員が増えたことによって、中堅・ベテラン社員が指導や教育を通じて交流する事で社員一人一人のスキルアップやモチベーションのアップにも繋がり、会社全体としても良い方向に向かっているのではないかと思います。

ただ、まだまだ十分ではないので今後は若手社員の技術の向上や、能力を発揮できる職場環境の改善に更に取組むことが重要な課題となります。

改善と今後(今後の目標)

若手社員が増えたとはいえ現状まだまだ十分ではなく、当社の認知とアピールのためより積極的に地元中高生との交流を深めること、社員が働きやすい職場環境を整えより改善していくこと、地域との繋がりを深めるためイベント等に積極的に参加して交流を持つことが大切になっていきます。そうすることで今後より一層地域・学校・行政・業界が連携でき、災害対応があったときは対応もよりスムーズになるのではないかと思います。

当社としては若手を育て、会社を育てる事で地域の一員となれる企業を目指していきます。



地域のイベント